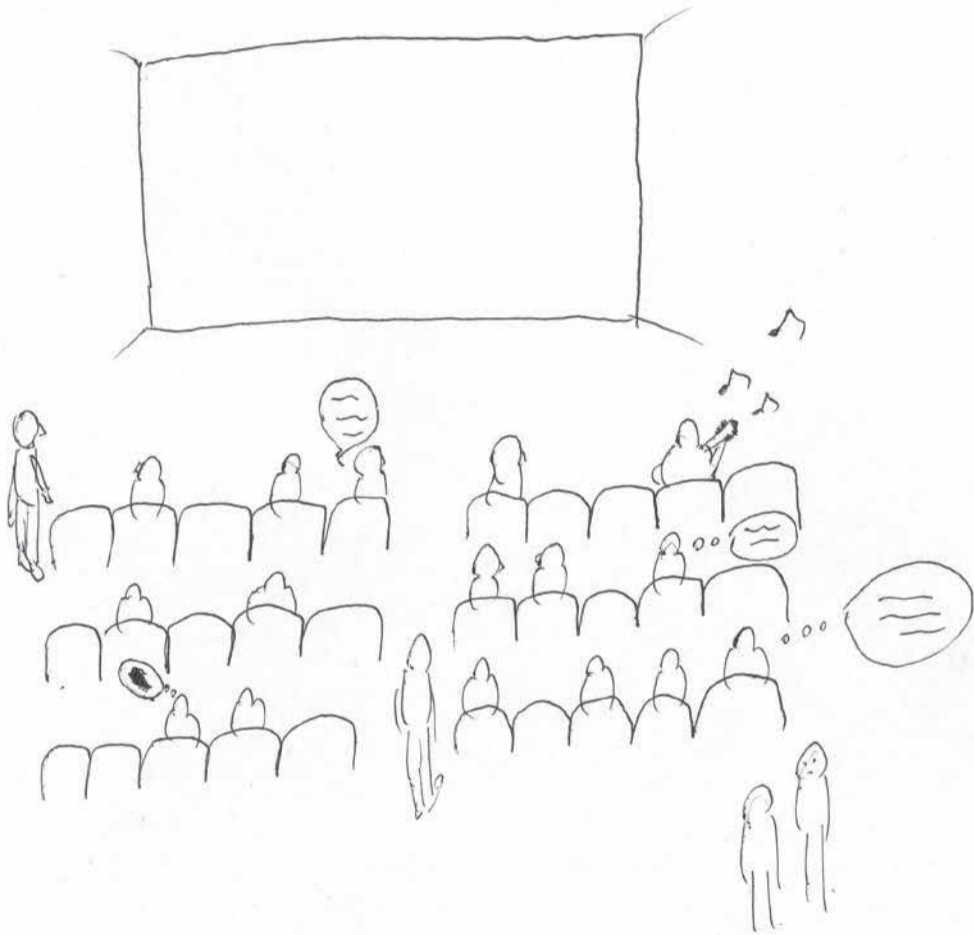


私たちはそれぞれの日常を携えて劇場へやってくる。  
友人や恋人と一緒にやってくる、あるいはひとりでやってくる。  
楽しい人も悲しい人も、灯りが消えた劇場には様々な人々が集まっている。  
同じ場所で同じ映画を見ている私たちの偶然の出会い。  
一緒にいることを知りさえしない待ち合わせ。  
映画が終われば劇場は閉じ、私たちはその経験を抱えてそれぞれの場所に帰る。  
誰かは帰りのバスで思い返しそれを大切な秘密として、  
別の誰かは深夜に遠くの恋人へ電話で伝える。  
劇場で偶然にも出会っていた人々が、それぞれに映画の後を過ごしている。  
でも私たちにはその出会いを思い出すことが出来ない。

もし上映が終わった劇場が開かれたままであればどうだろう。  
偶然にも映画と一緒に見ていた人々が、その場所ですぐの時間を過ごす。  
いつもは帰宅した後に書く日記をその席で開くかもしれない、  
友人同士はアントワヌの振る舞いについて大きな声で話し始めるかもしれない。  
それでもお腹が空いた人は然るべき場所へと向かうし、  
忙しい人は足早に劇場を後にする。  
でも、知り合うはずもなかった人と言葉を交わすかもしれない。  
上映が終わった劇場で蛙が降り注ぐような特別なことは起きそうにないけれど、  
私たちはそういった時間のことをすぐに忘れてしまうのだろうか？



## 映画を見終えた人々の出来事 | 藤村豪&内野清香

藤村豪&内野清香 展覧会+フランソワ・トリュフォー映画上映『ふたりの喧嘩は三人目の愉しみ』関連イベント

「もし上映が終わった後の劇場にすることが出来たら、私たちはどのように振る舞うのだろうか？」通常の映画館では上映終了後の客席は閉じられ観客は退場を促されますが、このイベントでは上映終了後の劇場が、映画を見た人々が自由に振る舞える場所となります。そこでは、映画を見るために劇場を訪れた人々の偶然の出会いとそれぞれの経験が取り上げられることとなります。

日時: 12月13日(土)、23日(火・祝)、27日(土)

各日11:30~の回上映終了後

場所: 川崎市市民ミュージアム 1F 映像ホール

参加費: 無料(当日の映画上映のチケットが必要です)

参加者: 各日の映画上映にいらした皆様

<12月13日> 曾我部恵一(音楽家)、市川秀之(千葉大学助教)、藤村豪&内野清香(美術家)

<12月23日> 前野健太(音楽家)、藤村豪&内野清香

<12月27日> 藤村豪&内野清香

上映チケット: 一般1200円、大学生・高校生・65歳以上1000円、小中学生・市民ミュージアム友の会会員800円

※本イベントは当日11:30~の上映に来館された観客の皆様を対象とする為、当日の上映チケットの購入が必要です。

※チケットはご入場の際に販売します。前売り券はありません。